

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	民生児童委員活動事業									
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課				所属長	大西健二			
会計情報	事業コード	440202	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 114 頁
施策体系	施策コード	050202	施策名	福祉関係団体との連携を強化する						
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	民生委員法									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	民生児童委員は地域住民の抱える悩みごとや地域で発見した課題を解決するために、行政への働きかけ、専門機関の紹介、必要なサービスの紹介や連絡などの役割を果たしていただくとともに、誰もが安心して住み続けられる地域づくりのために、地域住民や関係機関・団体と連携、協力して地域の絆づくりを進め、地域福祉の充実のための取組を進めていただいている。市は、それぞれの地域で先頭に立って住民福祉を担う民生児童委員の活動をサポートし、昨今の複雑化・多様化する福祉問題について、行政施策の情報提供を行い、また研修会を開催するなど、委員相互の連携を促進することで、地域福祉の向上を図る。								
対象者	民生児童委員、単位民生児童委員協議会、民生児童委員連盟、全市民		対象者数	77,581	単位あたりコスト	0.5			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等	業務委託：京都ユニオンサービス株式会社 補助金交付：福知山市民生児童委員連盟、各地区民生児童委員協議会								
事業概要 (箇条書き)	民生児童委員及び単位民生児童委員協議会、また単位民生児童委員協議会で組織する福知山市民生児童委員連盟の活動支援を行う。 【主な利用特財】 民生児童委員活動事業(きょうと地域連携交付金) 民生費府補助金 12,348千円 決算付属資料24頁								

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	報償費	26,554	民生委員・児童委員活動費
	負担金補助及び交付金	4,628	地域福祉活動促進補助金、府民児協会費、民児協会長活動費、理事・評議員活動費
	需用費	274	消耗品費、燃料代
	役務費	87	郵送料
	旅費ほか	63	旅費32千円、委託料20千円、使用料及び賃借料11千円

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	31,047	33,893	34,352	35,687
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	31,047	33,893	34,352	35,687	
予算財源内訳	① 一般財源	13,228	16,096	16,378	17,264
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	17,819	17,797	17,974	18,423
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	△ 157	△ 53	0	0
	② 配当予算	30,890	33,840	0	0
	③ 執行額	29,840	31,606	0	0
	④ 執行率	96.6%	93.4%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常職員)	0.66/0	0.44 /	0.44 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	5,280	3,520	3,520	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	35,120	35,126	3,520		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	民生委員・児童委員活動費	種類	民生費府補助金	実績金額	15,777	決算付属資料	24	頁
	特財名称	民生委員協議会会長活動費	種類	民生費府補助金	実績金額	119	決算付属資料	24	頁
	特財名称	民生委員地域福祉活動促進費	種類	民生費府補助金	実績金額	1,394	決算付属資料	24	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	民生委員・児童委員活動件数	件	38366 / 30000	37732 / 40000	41,438 / 40,000	/	40,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	民生委員・児童委員数	人	272/276	268/276	266 / 279	/	279
	単位あたりコスト		108.93	111.34	118.82		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	地域福祉を推進するうえで、中心的役割を担う民生児童委員の活動の必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	△	民生児童委員の活動の増大や活動に対する期待が大きい中で、その活動に見合った活動費を支払うよう見直しを行う必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	民生児童委員の活動は地域の見守り訪問活動、地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役などの地域福祉活動をはじめ、民生児童委員活動に係る会議や研修会等への出席、市や府等の各種委員会等への出席、証明事務等業務は非常に多岐にわたっている。今以上に民生児童委員に様々な業務を委ねることは困難である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>市(社会福祉課)に福知山市民生児童委員連盟の事務局を置き、各民生児童委員の活動をサポートしている。必要に応じて、理事会や各部会等の会議を開催し、委員と行政との連携を図るとともに、常に行政施策の情報提供や研修会を行うことで、各地区民児協活動の活性化に繋げていただいた。</p> <p>なり手不足解消に向けた取組として、令和元年度の一斉改選では委員の再任について、呼びかけを行うとともに、各地区民生児童委員協議会会長への協力依頼、民生児童委員連盟理事会で対策検討をおこなった。また、自治会長へは、春季自治会長会にて委員候補者の推薦を依頼し、地域の自治会長会へ民生児童委員の職務内容について説明に伺った。</p> <p>現在欠員のある地域へは、自治会からの推薦をいただけるように継続して呼びかけ及び支援を行っていく。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>少しでも民生児童委員の負担軽減を行うために、各種証明事務等を廃止するよう引き続き検討をしていく。</p> <p>民生児童委員の活動業務が増大するなかで、活動に対する報償費(費用弁償)の増額について検討が必要である。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: 民生児童委員改選事業) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	民生児童委員改選事業									
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課				所属長	大西健二			
会計情報	事業コード	440208	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 116 頁
施策体系	施策コード	050202	施策名	福祉関係団体との連携を強化する						
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	民生委員法									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	民生児童委員活動事業									

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	任期満了に伴う、民生児童委員の改選について、地域での見守りや支援が必要な人に対するの民生児童委員の活動が途切れることがないように選出や引継ぎ事務を円滑に進める。								
対象者	民生児童委員、全市民	対象者数	77,581	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	民生委員推薦会の開催 民生委員推薦事務 感謝状贈呈式及び伝達式の実施								

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	需用費	1,200	民生委員・児童委員委嘱状伝達式における新任・再任委員、退任委員記念品等消耗品購入他
	賃金	574	臨時職員賃金
	役務費	106	郵送料
	報酬	40	民生委員推薦会委員報酬
	報償費ほか	19	委嘱状伝達式、感謝状贈呈式司会謝礼12千円 事務説明会出張旅費7千円

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	2,207	80	80
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	0	2,207	80	80	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	80	58
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	22	0	22
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	2,185	0	0
決算情報	① 流充用額	0	4	0	0
	② 配当予算	0	2,211	0	0
	③ 執行額	0	1,939	0	0
	④ 執行率		87.7%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常勤職員)	0.10 / 0.00	0.10 /		0.00 / 0.00
	② 概算人件費		800	800	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	2,739	800		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	民生委員推薦会開催事業費	種類	民生費府補助金	実績金額	22	決算付属資料	24	頁
	特財名称	民生児童委員改選事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	1,917	決算付属資料	36	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	改選に伴う民生委員・児童委員委嘱者数	人				266 / 279	/ 279
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	改選に伴う各地区への自治会長説明会	回			7 / 10	/	
	単位あたりコスト				277.06		
	単位あたりコスト				/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	法律に基づく全国一斉の改選である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	△	期間が限られているなかで、コスト削減を考えるより事務を進めることが優先される。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	△	民生児童委員に対する期待はますます高まっているが、改選前後において欠員の生じている地域があり、なり手不足の状況が続いている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	一部の地域で民生児童委員が欠員となっており、地域の要配慮者にとっては支援が受けられない状況となっているため、できるだけ早く充足させる必要があるが、地域事情もあるため、自治会と調整を図りながら進めていく必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	現在、民生児童委員の推薦については自治会長に依頼をしているが、地域のつながりが薄れているなかで選出が困難になってきている。また、民生児童委員の人数や地区割については、自治会員の人数が減少している地域もあるため、選出方法とともに次回の改選に向けて検討していく必要がある。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい職務ということもあり、欠員が生じている状況の中で、民生児童委員の活動に寄り添い、委員の提言等にも可能な範囲で対応するなど、活動が報われる取組をお願いしたい。</li> <li>・民生委員の選出が大変と思うが、民生委員、自治会、推薦委員と連携を取って選出をお願いする。</li> <li>・民生児童委員に関する関連事業と事業統合できないか検討してはどうか。</li> <li>・民生児童委員の会合等で調整や周知をされている部分を活動実績に追加してはどうか。</li> </ul>
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: 民生児童委員活動事業 )
--------	--

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性						
事業名	災害ボランティア支援事業					
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課			所属長	大西健二
会計情報	事業コード	550170	款	09 消防費	項	01 消防費
					目	05 災害対策費
					会計	01 一般会計 決算付属資料 214 頁
施策体系	施策コード	050202 施策名 福祉関係団体との連携を強化する				
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	
根拠法令等	福知山市災害ボランティアセンター台風19号災害ボランティア派遣補助金交付要綱					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合					
関連事業						

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	災害時に活躍できる人材の育成や防災意識の向上を図り、災害時の迅速かつ的確なボランティア活動につなげる。					
対象者	全市民	対象者数	77,581	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
委託先・実施主体等	福知山市災害ボランティアセンター					
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常時の災害ボランティアセンターの体制強化のための啓発及び研修</li> <li>・市民サポーターの要請</li> <li>・災害時のセンター立ち上げ運営訓練 ほか</li> </ul>					
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容			
	負担金補助及び交付金	875	災害ボランティア活動推進事業補助金			

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	183	175	175	175	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	183	175	175	175		
予算財源内訳	① 一般財源	183	175	175	175	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	700	0	0	
	② 配当予算	183	875	0	0	
	③ 執行額	182	875	0	0	
	④ 執行率	99.5%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常職員)	0.07/0	0.09 / 0.00	0.09 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	560	720	720	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	742	1,595	720			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	市民サポーター養成人数	人	21 / 20	23/20	26 / 20	/ 20	20
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	市民サポーター養成講座等開催回数	回	1 / 3	4 / 3	0 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		180.00	45.50			
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	・災害時に活動できる人材を平常時から育成し、防災意識を高めておくことは重要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	・広域避難所である福知山市総合福祉会館の指定管理者である福知山市社会福祉協議会が、災害ボランティアセンターの実施主体となっており、非常時には効率よく活動することができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	・近年災害が頻発しており、市民の中でも平常時から災害に備えておくことの重要性への認識は高まりつつあり、市民の安心・安全を確保するため有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業により平常時から災害に備えていたため、平成30年7月豪雨による災害時においても、いち早く災害ボランティアセンターの立ち上げられ、多くのスタッフや災害ボランティアによる活動が行われた。</li> <li>・市民サポーター養成講座、防災講座等の開催により、市民サポーターの登録者の増加につなげることが出来たとともに災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練等により防災に対する市民の意識の醸成・向上につながった。</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>災害発生時には社協職員を中心として、市民サポーター、民生児童委員連盟、福知山公立大学、赤十字レスキュー、市町村社協連合会、府社協、府災害ボランティアセンター等の協力のもと行われるが、いつ起こるか分からない災害に備え、更に市民サポーターを増加させるとともに市民が災害に対する理解を深め災害に備える体制づくりを強化しておく必要がある。今後においても、災害ボランティアセンター運営事務局である社会福祉法人福知山市社会福祉協議会を中心に市も連携し、広報活動や講座等に取組む。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---